

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	アーチ・ライバル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.430	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

番

比較対照ボール：アブソリューション・エクスプレス

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

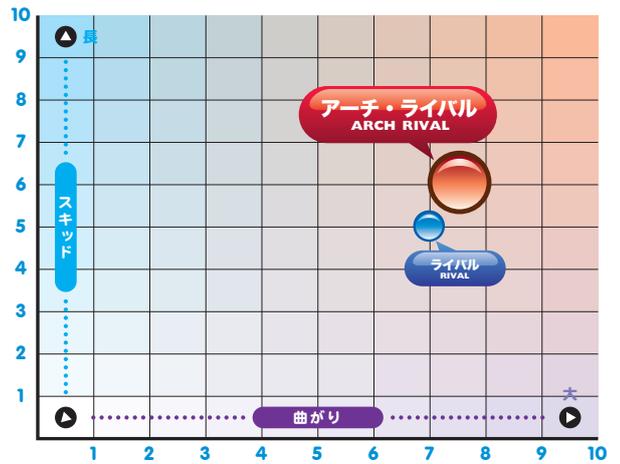
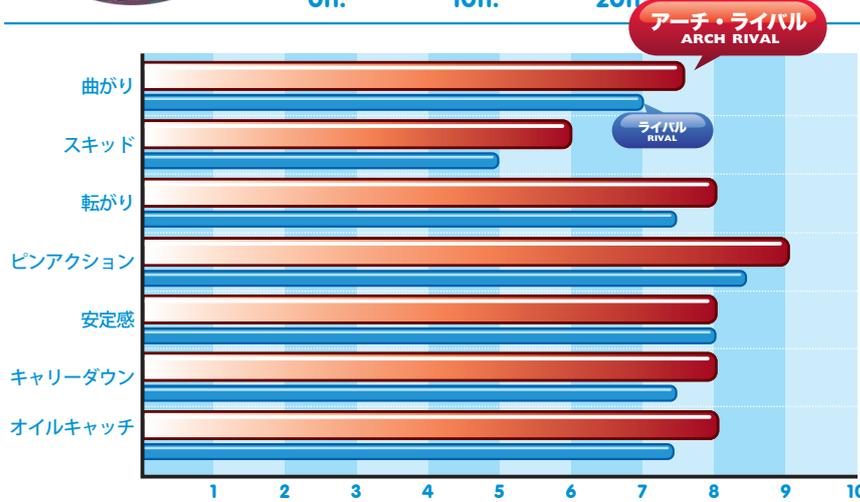
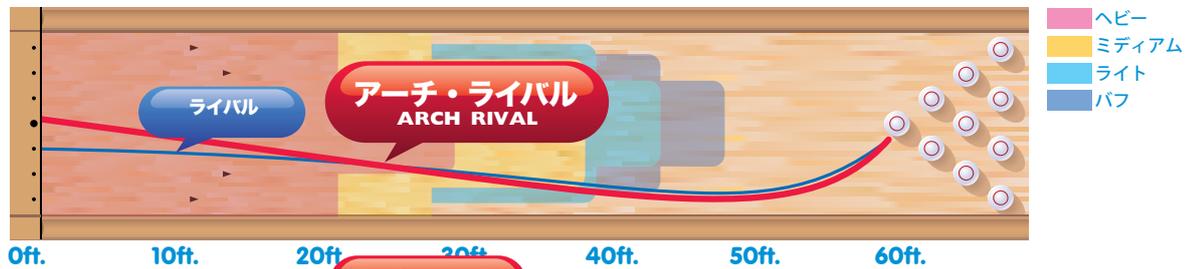
ポリッシュ

研磨剤

PAPからピンとの距離

4 1/2 インチ

番



ボールの評価

昨年8月に世界同時発売されたRIVAL。今回も6月17日に全米同時発売でこのArch RIVALは発売されます。コロムビア社がRIVAL後継機のカタログボールとして発売されるのを知らされたのはほぼ1ヶ月前。

以前にテストボールとしてテスターだけに供給されたボールの中に、山本勲プロと私の中ですごく第一印象が良いボールがありました。それがこのArch RIVALだったのです。投球した第一印象では4000番アブラロンパッド加工に見える表面加工でも走る印象が強く、走る特性を持っていながらカバーストックのポテンシャルはオイルに強い傾向が見られるバックエンドを強調した性能を感じました。

私が気に入っているところは、動きを強調させたスペックながらパフォーマンスが非常に安定感しており、動き始めからピンヒットまでが、攻撃的な中でも安定感がある事です。

RIVALとの比較投球では、このArch RIVALのスキッド能力はRIVALを上回り、バックエンド及び全体的な曲がり幅をもRIVALを上回ります。

RIVALで良く感じたピンアクションもこのArch RIVALはさらに柔らかさを感じる、スキッド・フック・ロールからピンアクションに至るまで「一点の曇りもない」性能は、まさしくコロムビア社カタログボールを名乗るに相応しい出来と言えます。

特記事項

Arch RIVALのネーミング通り「最大のライバル」は、ライバルにとって貴方が一番のライバルと化すボールを手にする事を恐れています。